

レジメン名

MEAM

出典 Ann Hematol (2016) 95:1513-1519

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

悪性リンパ腫
進行・再発
補助療法(術前・術後)
自家末梢血幹細胞移植 前処置

投与減量の基準

エトポシド	CCr15~50mL/min: 75%へ減量 CCr≤15mL/min: 50%へ減量または中止 T-Bil=1.5~3.0mg/dLまたは、AST>120IU/Lの場合、初期投与量を50%へ減量→毒性が認められなければ漸増
アルケラン	eGFR<50mL/min/1.73m ² (HD含む)の場合、50%減量

1クール期間

6日

総クール数

1

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

T-Bil	3.0mg/dLを超える ^{※3}		
その他	※3 エトポシド中止		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ラニムスチン(サイメリン)	300mg/m ²	NS250mL	1hr	-d6
エトポシド	200mg/m ²	輸液500mL	3hr	-d5、-d4、-d3、-d2
シタラビン(キロサイド)	200mg/m ² × 2	輸液500mL	3hr	-d5、-d4、-d3、-d2
メルファラン(アルケラン)	140mg/m ²	NS100mL 中心静脈より投与	15min ^{※2}	-d1
※2 調製後、1.5時間以内に投与を終了すること。移植はアルケラン投与終了から24時間以上あけること。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ホスト Medikation、 溶解液まで含む)
-d6 ①グラニセトロンバッグ 3mg(30min) ②サイメリン 300mg/m ² +生食250mL(1hr) ③生食50mL(フラッシュ用)
-d5、-d4、-d3、-d2 ①グラニセトロンバッグ 3mg+デキサート9.9mg(30min) ②キロサイド200mg/m ² +輸液500mL(3hr) ③エトポシド200mg/m ² +輸液500mL(3hr) ④生食50mL(フラッシュ用) キロサイド投与開始から12時間後 ⑤グラニセトロンバッグ 3mg(30min) ⑥キロサイド200mg/m ² +輸液500mL(3hr) ⑦生食50mL(フラッシュ用)
-d1 中心静脈より投与 ①アロキン0.75mg+デキサート6.6mg(30min) ②生食50mL(フラッシュ用) ③アルケラン 140mg/m ² +生食100mL(15min) ④生食50mL(フラッシュ用) ※投与前日から投与終了後 24 時間は、水分補給及び利尿剤の投与を行い十分な尿量を確保すること。補液量は 2,000mL/日以上、確保すべき尿量は 100mL/h 以上を目安とする。 ※クライオセラピーを検討。
d0、d1 ①デキサート6.6mg+生食50mL(30min)
-d1~d1 内服 アプレピタントカプセル(125mg-80mg-80mg) 初日は化学療法1時間前、その後朝食後